

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表(令和7年6月)

| タイトル | 項目番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価コメント | | | | |
|-------------------------------------|------|---|-----------------------|---------|-------------|----------|--|----------|--|--|--|--|
| | | | 実施状況 | | | | | | | | | |
| | | | できている | ほぼできている | がで多きいていないこと | 全くできていない | | | | | | |
| I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | | | | | |
| サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている | <input type="radio"/> | | | | 事業所の理念を掲げている。 | | | | | |
| (2) 適切な人材の育成 | | | | | | | | | | | | |
| 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している | <input type="radio"/> | | | | 毎朝唱和し、達成に向け努力している。 | | | | | |
| | 3 | 運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している | <input type="radio"/> | | | | 社内外の研修に取り組み、自己啓発をおこなえる機会を設けている。毎月、介護研修としてジョブメドレー・アカデミーを活用し、職員の介護技術向上に向けて取り組んでいる。 | | | | | |
| | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に發揮され、能力開発が促されるよう配慮している | <input type="radio"/> | | | | 業務の平準化を目指した人員編成をおこない、それぞれの特徴を生かした職員が配属されている。 | | | | | |
| 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 5 | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている | <input type="radio"/> | | | | 毎朝・毎夕の申し送りにて、利用者の変化を伝え共有している。 | | | | | |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | | | | | |
| 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている | <input type="radio"/> | | | | 限られた職員で最大限の体制が取れるように勤務調整を行っている。 | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている | <input type="radio"/> | | | | 連携推進会議の開催時にいたいたご意見、要望、助言を反映している。 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|----|---|----------------------------------|----------------------------------|--|--|--|---|
| 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 看護職による医療アドバイス等専門性を生かし、緊急対応等に反映させている。 | ・アプリ内で課題を選び受講している。 ・社内外研修をしている。 |
| 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 看護職の定期的な訪問の結果を申し送りや口頭で指導、助言が実施されている。 | |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | |
| 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 契約前からケアマネを通してこのサービスの特性を理解して頂き、契約時にも説明をおこなっている。 | |
| 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者、家族等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るために努力がされている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 目標は、長期・短期に分け、ご本人ご家族に説明し、ご理解頂いた上で署名頂いている。 | |
| | 21 | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 定期的に情報は提供し、変化があった場合は、都度報告している。 | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | |
| 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 担当者会議で利用者の状況に合わせたサービスを行い、変化があれば都度報告し、対応している。 | ・担当者会議や電話、ブウ所を通じて情報を共有している。 |
| | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている | | <input checked="" type="radio"/> | | | 目標達成への提案を行っている。インフォーマルサービスとしてご家族様より地域のスーパーへ発注、配達依頼をおこなっていただき、活用している。 | ・状態に応じてご家族との外出や、必要な介護サービスについてご意見をいただいている。 |
| 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | <input checked="" type="radio"/> | | | | 担当者会議では多職種と連携が取れるよう情報提供をおこなっている。 | ・定期的にモニタリングの結果を報告している。 |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | |
| 利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目) | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|----|---|-----------------------|--|-----------------------|--|--|---|
| | 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目) | <input type="radio"/> | | | | 入居、退去・入院、退院に関して多職種と連携し、サービスが滞ることの無いよう情報の共有、検討をおこなっている。 | |
| 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目) | | | | | | |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | |
| 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている | <input type="radio"/> | | | | 推進会議の内容についての情報発信は、ブログにアップしておりどなたでも閲覧できるようにしている。 | |
| | 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | <input type="radio"/> | | | | 「介護何でも相談」として地域の回覧に載せて頂いた。 | |
| (2) まちづくりへの参画 | | | | | | | | |
| 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 30 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | <input type="radio"/> | | | | 正しい理解が出来るよう、研修会等に積極的に参加している。 | |
| サービス提供における、地域への展開 | 31 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | | | <input type="radio"/> | | 浅間温泉交流センターで行われている「みんなのカフェ」に参加している。 | ・イベントに参加する術がない、施設で企画し地域の方に参加していただく事を検討している。 |
| 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32 | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目) | | | | | | |
| III 結果評価 (Outcome) | | | | | | | | |
| サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | <input type="radio"/> | | | | 服薬管理、口腔ケア、レクリエーション等定期的なサービスで心身の安定が図られている。 | |
| 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | <input type="radio"/> | | | | ご家族や利用者からは安否確認により大事故に至らなかったりなど安心した生活が送れている。 | |